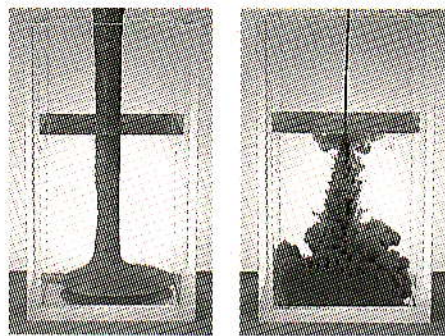


高機能特殊増粘剤軸に

花王は高機能特殊増粘剤「ビスコトップ」を軸に土木・建築用化学品事業を強化する。ビスコトップをセメントスラリーに添加すると、水中で分散しない、圧力をかけると粘性が下がる。など独自の物性を持たせることができる。埋立地の杭工事(地盤改良工事)、港湾や護岸の耐震補強や液状化対策、トンネル内の補修工事などに利用できる。同社の土木・建築用化学品の中で柱の1つとすべく育成を図っている。国土交通省が7月からホームページで公表している震災復旧・復興に資する資材にも取り上げられており、復興現場での積極的な活用も期待している。



「ビスコトップ」を添加したセメントスラリー(左)と無添加のもの

震災復興での活用も

一般にセメントスラリーの増粘には水溶性高分子やベントナイトが用いられている。水溶性高分子はセメント粒子表面に吸着し粒子

も含めたネットワークを作る。一方、ビスコトップは従来の水溶性高分子によるコンクリート増粘剤とは異なり、ビスコトップ100A(成分は

アルキルアリルスルホン酸塩)と「ビスコトップ100B(アルキルアミンモノウム塩)の2液を使用時に現場で混合することで、静電的に混合し、チューブ状のミセルを形成する。この界面活性剤が会合したミセルは、セメント粒子に吸着せず、包み込むようにしてネットワークを作る。セメントと水の混合液中では高分子化合物のようにふるまい混合液の粘度を増加させる。そのため、ビスコトップで増粘したセメントスラリーは、水中で分散せず一塊となり、そのまま硬化する。この性質を利用して、海峡を横断する橋の橋脚

新規脱脂洗浄剤を発売

ツルベックス 塩化メチレンなど代替

の土台や護岸工事など水中や水と接する場面での工事を行うことができ。埋立地など、砂質土で軟弱な透水性の地盤における杭打ちや補強などの工事にも適している。杭打ち工事では、あらかじめ

土台や護岸工事など水中や水と接する場面での工事を行うことができ。埋立地など、砂質土で軟弱な透水性の地盤における杭打ちや補強などの工事にも適している。杭打ち工事では、あらかじめ

国土交通省は新技術活用システム(NEETIS)登録された約1700件の技術を対象に震災復旧・復興に資するものをホームページで公表しており、同製品も掲載されている。

ソルベックス(福井市、藤原忠生社長)は、ハイドロフルオロエーテル(HFE)系脱脂洗浄剤「ソルベックス・3D」を発売した。フッ素系溶剤「ソルベ55」シリーズか

ら派生して開発されたもので、塩化メチレンや臭素系溶剤、ハイドロクロロフルオロカーボン(HCFC)1225の代替として現行の洗浄設備を入れ替えることなく、使

用できる。引火性のなさが脱脂洗浄力の高さを強みに、普及拡大を図る。新たに開発されたソルベックス・3Dのラインアップは2品種。その1つであるソルベックス・3D-1Vは、HFE、トランス-1,2-ジクロロエチレン、ハイドロフルオ

プラ用塗料製造で特許

トーチ PEなどに直接塗装

特殊樹脂・塗料メーカーのトーチ(東京都品川区、塘地守社長)はこのほど、合成樹脂用塗料およびその製造方法について特許を取得した。従来、塗料が塗れないといわれてきたポリエチレン(PE)やポリプロピレン(PP)、強化プラスチック(FRP)などに下処理

をすることなく塗装できる技術で、コスト削減やこれらの表面に新たな機能性を付与したいという需要に貢献する。同社は今回の特許取得を機に、独自の塗料製品のさらなる拡販を進めていく。

このほど特許取得したのは「合成樹脂用塗料、その製造方法およびその塗料の製造に関する特許」だ。

同社は1982年の創業時から、PPやPEなど塗料が付着できないといわれていたところに適合する下地処理不要の塗料開発を得意とし、製品にその強みを生かしてきた。例えば、同社主力の「タノクスアンコートPPS500」(商品名)は、ビルやマンションなどの屋上に設置されているFRP貯水槽向け被膜塗料。FRPは塗料が付着しにくい性質を持つが、同社は

独自開発のポリオレフィン樹脂とステンレス状の被膜を配合することで、劣化による表面に露出したガラス繊維を封じ込め、光や空気を遮断し、水質の悪化や藻・雑菌の繁殖防止に成功した。

その他、「PPコート」や「PEコート」は、文字通りPPやPE材に対しての密着性や耐熱、耐薬品性に優れ、一般塗料と同様の塗装を行うことが可能となっている。塘地専副社長は「われ

われの技術は、表面処理が必要なく、お客さまのコスト削減に貢献できる。最近ではポリエチレンなどへ色付けしたいとの声も多く、そうした需要も満たしていきたい」と自信をのぞかせる。

同社は、来年設立30周年を迎える。原料の樹脂から製品までを自社で開発・生産できる強みを生かし、今回の特許取得も追い風に、高付加価値製品市場で事業規模拡大を図っていく。

銀系抗菌剤を拡販

日本イオンナノ加工で卓効

日本イオンは、独自技術で加工した銀系抗菌剤の販売を強化する。銀をナノサイズにしたパウダー、分散液、抗菌プラスチック原料や、銀イオンの高濃度濃縮液で各種製品を品揃えして

いる。生活用品、家電、医薬品、化粧品など幅広い分野で積極的に普及を図る。同社のナノシルバーは、99.9%の純銀素材をナノサイズに特殊加工したもの。従来の銀系抗菌剤や無機抗菌剤と違

塗装ブース向け拡販

水性洗浄剤

安全性・環境配慮前面に

マックテクニカルシステムズは、HFE、トランス-1,2-ジクロロエチレン、HFCを成分とする。沸点は36〜63度C。高い脱脂力と乾燥性を持ち合